

学びの宝庫、飯田

～ 大学生からのメッセージ ～

No.67

地域力ある飯田市で 木の駅プロジェクト

法政大学経済学部現代ビジネス学科2年

ふたがみ ゆうぞう
二神 友造 (神奈川県横浜市出身)

私が所属する西澤ゼミでは「地域貢献と環境保全」を活動方針とし、2008年から毎年飯田市を訪れフィールドワークを行い、2015年からは「木の駅プロジェクト」をテーマに学んでいます。

木の駅プロジェクトは、森林整備と地域経済の活性化を目的としています。森林所有者(山主)が、林地残材を、「木の駅」と呼ばれる土場に搬出し、木材の対価として地域通貨を受け取るのがこのプロジェクトの仕組みです。

この3月に、木の駅プロジェクトの縮小版「木の駅ごっこ」を千代地区で開催しました。実際に開催したことで発見した課題は山積みです。協力してくださった住民の皆さんのご意見や思いを生かしながら、継続していきたいと決意しました。

飯田市での活動で、大学の授業では学ぶことのできない知識を現場で得ることができます。このような活動ができるのは、地域の方々の懐が深いことに加え、地域に対する思いがあつてこそだと感じました。今後も力を入れて研究活動を進めていきます。



現場での活動の様子